

venus

ペダル・ミュージアムの最高傑作のひとつにインスパイアされ、クラシックなチューブ・トーンの彫刻を現代的にリファインして再現することになりました。80年代から90年代にかけてのクラシックなチューブパワード・オーバードライブ・バリエーションの全ての異なるヴォイシングと、ラックマウント・バリエーションのいくつかの改造と機能を、オリジナルのペダル・ユニットの半分以下のサイズのコンパクトな筐体に凝縮しました。電源トランスを内蔵する代わりに、バックグラウンド・ノイズとハムノイズを低減するため、標準的なDC9V電源から電源を供給することになりました。また、必要な電圧範囲であるDC±15Vを供給するため、電圧マルチプライヤー回路を設計しました。

クラシック・ユニットにはECC832デュアル三極管が搭載されていましたが、多くのユーザーはECC82/12AU7のような低ゲイン/高ヘッドルームの代替品を好みました。

この傑作を作り直すにあたり、私たちはECC83とECC82を半分ずつ使用したECC832デュアル三極管を選びました。

Controls

drive	チューブドライブ/サチュレーションとサステインをコントロールします。ライトなチューブ・オーバードライブ (反時計回り) からファジーなディストーション (時計回り) まで。
bias※	真空管のカソードバイアスを設定し、真空管のカソードを通過する電流を制御します。このノブを調整することで、使用するチューブ・タイプのスイート・スポットを見つけたり、オーバードライブの質感を設定したりできます。 ※バイアス・ノブを回している間、真空管のカソードに加わる直流電圧の変化により、バチバチとスクラッチ・ノイズが発生するのは仕様です。
volume※	エフェクトの出力レベルを設定します。 ※出力レベル・レンジは、line driver push switchの設定に依存します。
hi	時計回りに回すと高域の量が増加します。
mid	80年代から90年代にかけてのクラシックなチューブ・パワー・オーバードライブの様々なヴォイシングを通して、中域の量/スweepを調整できます。
lo	時計回りに回すと低域が増加します。
tight push switch	真空管のゲイン・ステージに当たる低域と中低域の量をプリセットし、(押し込んだ時の) ファットなサウンドかタイトなサウンドかを選択できます。
line driver push switch※	ペダル・バージョンのバッファードされていないインストゥルメント・レベル出力か、ラック・マウント・ユニットのバッファードされたライン・レベル出力 (押し込んだ場合) のいずれかを選択。 ※オリジナル・ユニットと同様に、バッファリングされていないインストゥルメント・レベル出力は入力と逆相になり、バッファリングされたライン・レベル出力は回路の入力と同相になります。このプッシュ・ボタン・スイッチの設定に関わらず、ペダルのバイパス状態は常にトゥルー・バイパスです。バッファアライナー・ドライバーは、エフェクトが動作している時のみエフェクトの出力に配置されます。

FOOTSWITCHES

高品質なリレーを介して、エフェクトをエンゲージ(ON)またはトゥルー・バイパスにします。

POWER-UP BYPASS STATE PRESET

電源投入時にLEDが点滅し、デフォルトでバイパス・モードになります。電源投入時にフットスイッチを押し続けると、デフォルトの機能がエンゲージド (オン状態) に変更されます。元の設定に戻すには、上記の手順を繰り返します。この機能は、リモート・ペダル・スイッチャー/ルーパーを使用する場合に特に便利です。

venus

Connections

↑/↓

モノラル楽器入出力

Power supply※

※電流容量500mA以上の絶縁されたDC9V、センターマイナスの電源を使用してペダルを操作することができます。外部電源を接続する前に、DC電圧、極性、電流容量に注意してください。

電源 DC9Vセンターマイナス（最高のパフォーマンスを得るためには、絶縁電源の使用を推奨します。）
最大消費電流：400mA

Venusは最適なパフォーマンスを得るためにECC832デュアル三極管を使用して設計されていますが、ECC83/12AX7、5751、ECC81/12AT7、6072/12AY7、ECC82/12AU7などの標準的なデュアル三極管に置き換えることができます。

チューブの交換方法

電源を切り、ペダルの底板のネジを緩めて取り外します。チューブを静かに取り外し、新しいチューブと交換し、ボトム・プレートを再び取り付けます。別のチューブに交換する際は、ピンがソケットのピン穴に合っていることを確認してください。ゲインや周波数が低下したり、出力がほとんど出なくなったり、マイクロフォニックな口笛や鳴き声、過度のノイズが発生した場合は、真空管を交換する必要があります。

本機はDC9V入力専用設計されています。
内部昇圧回路を備え、真空管回路に+/- 15V DCを供給します。
高電圧や逆極性の電源を使用すると、故障の原因となり、保証が無効になります！

一般安全規格に準拠した電流容量500mA以上の絶縁型DC9Vセンターマイナス電源のみを使用してください。本機の金属筐体には、電子管用の換気口があります。液体や湿気のある場所に置かないでください。

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>



WARRANTY POLICY

この度はCrazy Tube Circuits製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

- 1 - 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
 - 2 - 本保証書は日本国内のみ有効です。
 - 3 - 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
 - a. 消耗品（電池、真空管、パーツ等）の劣化による交換。
 - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
 - c. お取扱い方法が不適当なために生じた故障。
 - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
 - e. 天災（火災、浸水、地震、落雷等）による故障・破損。
 - f. 発電機の使用による故障。
 - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
 - h. メンテナンス不足による故障。
 - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
 - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
 - k. 保証書の字句が書き換えられている。
 - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
 - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
 - 4 - 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
 - 5 - 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
 - 6 - 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
-

